

平成 26 年 01 月 23 日

関 係 各 位 様

長崎災害リハビリテーション推進協議会

代表 松坂 誠應

(ナガサキリハビリテーションネットワーク)

「平成 25 年度 長崎災害リハビリテーション推進研修会」のご案内

時下、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から地域リハビリテーションの推進につきましてはご協力いただき感謝申し上げます。

さて、大規模災害時における支援活動には救命救助のみならず、それに引き続くリハビリテーションによる生活支援等が非常に重要であることが浮き彫りになりました。このため、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（J R A T）が2011年4月に結成され、適時適切に支援活動に参加できるような素地づくり（ネットワーク構築、研修会実施、教育・啓発など）を行うために、長崎災害リハビリテーション推進協議会が2013年11月に結成されました。

今回、普賢岳災害の経験ある島原地域の支援活動を拝聴し、災害リハビリテーションの活動推進研修に繋がたく下記及び別紙チラシの通り研修会を開催しますので、是非ともご参加をお願いします。

◆日程 平成 26年2月14日(金)

◆時間 19:00～21:00(受付開始 18:30～)

◆場所 島原市有明文化会館 多目的ホール(島原市有明町)

◆内容

1)開会(19:00)

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)にいて

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 代表 栗原 正紀氏

2)講演(19:20～20:50)

講演 1 雲仙普賢岳災害の状況と救急医療について

長崎県島原病院 副院長 徳永 能治氏

講演 2 雲仙普賢岳災害における避難住民への支援

島原市福祉保健部 保険健康課 健康づくり班

生活習慣病対策室 主任(保健師) 園田 美香氏

講演 3 東日本大震災へ **DMAT** 派遣の経験からリハ支援の役割について

長崎県島原病院 作業療法士 山中 文夫氏

3)閉会(21:00)

◆参加費:無料

◆対象:介護支援専門員・介護関係従事者・行政関係者・リハビリテーション関係従事者等

◆主催:長崎災害リハビリテーション推進協議会

(問合せ先) (医社) 東洋会 池田病院

電話 0957-62-3043・FAX62-3040 担当者:高柳・林

平成 25 年度 長崎災害リハ推進研修会の参加申込み書 (FAX)

参加申し込み先

FAX 番号 0957-62-3040

(医社) 東洋会 池田病院 リハビリテーション部 高柳 行き

ふりがな 施設・事業所名			
住 所			
電 話 番 号		FAX 番号	

	参 加 者 氏 名 (ふりがな)	職 種
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

ご意見・ご要望等ございましたらお気軽にお書きください。

※平成 26 年 2 月 7 日 (金) までにお願ひします。

記入欄不足の場合はコピーお願いします。

長崎災害リハビリテーション 推進研修会

時下、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

2011年3月11日の東日本大震災による被災の影響は未だ現在進行形であり、復興にはまだまだ程遠いと言わざるを得ない現状が続いています。

今後の大規模災害時における支援活動には救命救助のみならず、それに引き続くリハビリテーションによる生活支援等が非常に重要であることが浮き彫りになりました。このため、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（J R A T）が2011年4月に結成され、適時適切に支援活動に参加できるような素地づくり（ネットワーク構築、研修会実施、教育・啓発など）を行うために、長崎災害リハビリテーション推進協議会が2013年11月に結成されました。

今回、普賢岳災害の経験ある島原地域の支援活動を拝聴し、災害リハビリテーションの活動推進研修に繋がたく下記の通り開催しますので、是非ともご参加をお願いします。



◆日 程 平成26年2月14日(金)

◆時 間 19:00～21:00 (受付開始 18:30～)

◆場 所 島原市有明総合文化会館 多目的ホール (島原市有明町)

◆内 容

1) 開 会 (19:00)

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（J R A T）について
大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 代表 栗原 正紀 氏

2) 講 演 (19:20～20:50)

講演1 雲仙普賢岳災害の状況と救急医療について
(40分) 長崎県島原病院 副院長 徳永 能治 氏

講演2 雲仙普賢岳災害における避難住民への支援
(20分) 島原市福祉保健部 保険健康課 健康づくり班
生活習慣病対策室 主任 (保健師) 園田 美香 氏

講演3 東日本大震災へDMAT派遣の経験からリハ支援の役割について
(20分) 長崎県島原病院 作業療法士 山中 文夫 氏

3) 閉 会 (21:00)

◆対 象：介護支援専門員・介護関係従事者・行政関係・
リハビリテーション関係従事者など

◆主 催：長崎災害リハビリテーション推進協議会

※申し込みは、別紙参加申込書にて、2月7日(金)までに
[FAX 0957-62-3040 池田病院 リハ室宛] お願いします。

◆参加費
無 料



●島原市有明総合文化会館 案内図



問合せ

(医社) 東洋会 池田病院
[リハ部 高柳 公司]
Tel 0957-62-3043
Fax 0957-62-3040

長崎災害リハビリテーション推進協議会

設立趣意書

【趣旨】

2011年3月11日の東日本大震災による被災の影響は未だ現在進行形であり、復興にはまだまだ程遠いと言わざるを得ない現状が続いていますことは非常にいたたまれない思いです。

今回の災害は阪神淡路大震災時とは大きく異なり、大地震に引き続き起こった大津波によって瞬時に多数の方々が落命され、更にその後の避難所・仮設住宅生活において多くの高齢者が生活不活発病を基にした種々の罹患状況が今なお大きな問題となっているところです。

このような経験から、今後の大規模災害時における支援活動には救命救助のみならず、それに引き続くリハビリテーションによる生活支援等が非常に重要であることが浮き彫りになりました。このため、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（J R A T：旧東日本大震災リハビリテーション支援関連団体協議会（2011/04 結成）：日本リハビリテーション病院・施設協会、日本リハビリテーション医学会、回復期リハビリテーション病棟協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会、日本訪問リハビリテーション協会、全国デイクア協会、日本介護支援専門員協会、全国地域リハビリテーション研究会・全国地域リハビリテーション支援事業協議会、日本義肢装具士協会）では全国規模で災害リハビリテーションコーディネーター養成研修を行い、災害リハビリテーションに関するネットワークの構築およびDMATと連動した活動が可能なJ R A Tの育成を行い、来る大災害に備えていくこととなりました。

そこで長崎県ではこれら全国規模での動きに連動し、来る大規模災害時にDMAT等との連携の下で適時適切に支援活動に参加できるような素地づくり（ネットワーク構築、研修会実施、教育・啓発など）を行うために、ナガサキリハビリテーションネットワーク、長崎県理学療法士会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県介護支援専門員協議会、長崎回復期リハビリテーション連絡協議会等が一堂に会し、長崎災害リハビリテーション推進協議会を結成することとなりました。

代 表	松坂 誠應	ナガサキリハビリテーションネットワーク代表 (長崎県リハビリテーション支援センター 代表)
副代表	塩塚 順	長崎県理学療法士協会会長
世話人	沖 英一	長崎県作業療法士会会長
	田上由貴子	長崎県言語聴覚士会会長
	榎本 哲子	長崎県介護支援専門員連絡協議会理事
	栗原 正紀	長崎回復期リハビリテーション連絡協議会 (大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会代表)